

ふるさととつながるキャリア教育の実践

～地域と共に歩む体験活動を通して～

美祢市立 秋芳北中学校、別府小学校、嘉万小学校

キャリア教育の視点

秋芳北中学校区では、地域の教育力を活用したふるさと学習を通して、学校以外の場所での体験活動と、事前・事後の指導を充実させることにより、自分たちの成長した足跡を振り返りながら、自分にできることは何かを考えさせる取組を行っている。

【キャリアプランニング能力】【人間関係形成・社会形成能力】【自己理解・自己管理能力】

地域と共に歩む体験活動

秋芳北中学校区では、別府小学校は、梨下村塾（梨作り）と神楽舞を通して、地域と深く関わっている。嘉万小学校は、マーチングバンドの活動を中心に、老人ホームや地区の行事に参加して、地域の方との交流を深めている。ふるさとに深く関わる活動をとおして、キャリアプランニング能力が培われていると考える。中学校では、それを受けて、地域調べ学習・先達に学ぶや職場体験学習に取り組み、成果を上げている。

各校の体験活動

〔美祢市立別府小学校〕

全校児童が梨下村塾の塾生となり、地域の指導者、永嶺克博さんに指導を受けながら、ふるさとの特産品である「秋芳梨」の栽培活動を行っている。



また、3年生から6年生は、山口県指定無形文化財である「別府神楽舞」を地域の方から教えてもらい、地域の伝統を受け継いでいる。毎年11月には壬生神社への奉納を行っている。



〔美祢市立嘉万小学校〕

低学年は、田植えや収穫体験、野菜の栽培活動、昔の遊びなどを通して、地域の人や自然とふれあっている。

3年生から6年生は、年間を通じて、マーチング活動やふれあい活動を行っている。（春の運動会、青景園訪問、八代地区訪問、市の音楽祭、学習発表会など）

清掃活動に重点を置いて校内・外の清掃活動に力を入れて活動している。（心を磨く清掃活動）



それぞれの体験活動で育つ力

これらのふるさととつながる体験活動を通して、9年間の中で、キャリア教育でめざす4つの力が育っていくと考える。特に、キャリアプランニング能力のつながりが大きい。

小	低学年	中学年	高学年	中	中学校
別府小	・地域の方とのふれあいや、異学年集団での活動を通して、「働くこと」の喜びを見出す。	・ふるさとのよさに気づき、地域のために自分にできることを考える。	・ふるさとに誇りを持ち、地域のために自分にできることを考え実行する。	秋芳北中	・ふるさとの良さを知り、ふるさとのために役立つ自分を発見する。 ・将来に向けて、望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己実現や社会貢献できる自分を発見する。
嘉万小	・楽しく活動することを通して、「学ぶこと」「働くこと」の意味を理解する。	・ふるさとを知り、感謝して、地域に対して自分のできることを考える。	・自分たちが、地域に支えられていることに感謝し、できることを考えて実施する。		

アンケート結果から見られる一つの成果

不安軽減につながったアンケート「中学生になってみて」の実施

「中学生になるにあたって不安を軽減してくれたことは何ですか。」の質問に対して、北中の理科や体育の先生の授業や仮入学（北中の1年生がつくったパワーポイントの学校紹介）・入学説明会が大きく影響したことが分かった。小中の連携をさらに深めることで、夢と希望に満ちた中学校生活に移行できるようにと取り組んでいる。

〔美祢市立秋芳北中学校〕

1年生は、地域調べ学習でふるさとの良さを知り、さらに、ふるさとのために役立つにはどうしたら良いかを考えている。2年生は、職場体験学習を通して正しい勤労観・職業観とは何かを探り、自己実現の仕方について考える。3年生は、自分の適性に合った仕事を知り、社会貢献にもつながる進路学習を考える。

